実践し
省察する
コミュニティ

福井大学連合教職大学院は、
21世紀の学校教育を担う教員の
専門性を高めるために、
様々な取り組みを通して
学びを深めています。
1年間の活動を紹介します。

福井大学連合教職大学院

4月

開講式

福井大学教職大学院に入学された方々が初めて一堂に会します。まだ肌寒い福井の春に思い思いの熱い志を抱きながら、これからの教育の在り方について、そして自らの在り方について、深めていくことになります。

学びの捉え直しを始める

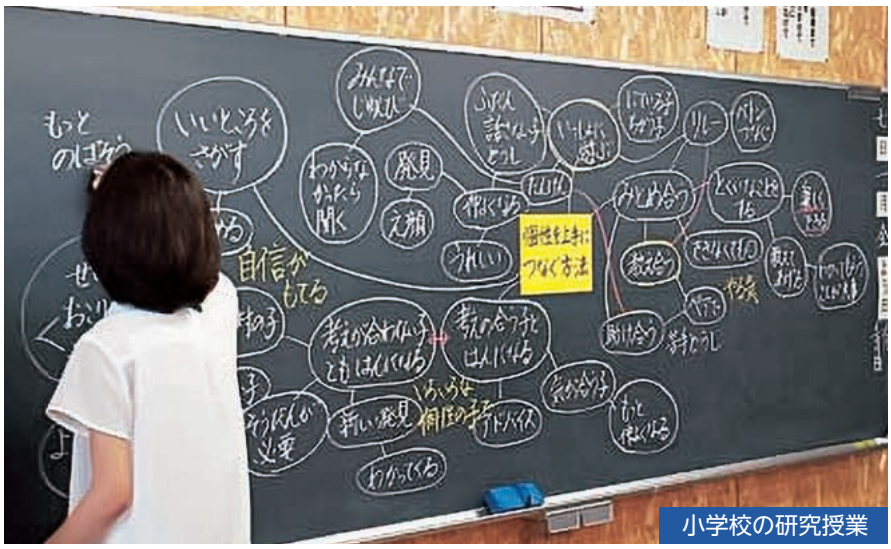
特別支援学校の授業実践

通年

学校での実践を支える

拠点校方式を採用する福井大学では、大学教員がチームとなって院生が所属する学校に出向き、授業づくり・授業実践・授業研究・学校組織マネジメントといった学校にかかわる様々なことについて支援します。自分の現場に基づき考えることで、優れた実践と研究が生まれていきます。

また、授業研究・教職専門性開発コースの院生は、毎週木曜日に一堂に集まり、インターン先での学びの振り返りや院生が企画したテーマ毎のカンファレンスで自分の思いを語り、聴く、話す場を設けています。さらに、公教育改革の動向等についての理論を学びます。



小学校の研究授業

中学校の校内研究会

実践と理論の往還で学びを積み重ねる

4・5・7月

月間合同カンファレンス

福井大学教職大学院で月に１度行われるカンファレンスでは、教師としての専門性を高めるために、院生と教員が一つのグループになって、互いの実践やこれからのビジョンについて語り、聴き、省察を深める時を持ちます。時には福井大学・嶺南会場・東京会場の三会場をテレビ会議システムでつなぎ、異なった場で同じ時を共有することもあります。

院生が毎月１回頭を突き合わせてグループで話し合う

他者の優れた実践レポートを読み込んで学ぶ

合同カンファレンスで学びを省察し合う

6月

ラウンドテーブル

Summer Session

毎年、6月（Summer Session）と2月（Spring Session）にラウンドテーブルを開催しています。

1日目は、A（学校）、B1・B2（教師）、C（コミュニティ）、D（授業研究）の5つのゾーンに分かれ、県内外だけでなく海外からも多くの教育関係者が福井大学に集まり、各ゾーンのテーマに従ってセッションを展開します。午後からスタートし、ポスター発表、シンポジウム、フォーラムと続きます。また、小中高校生によるポスター発表も同時に開催するなど、年代を超えた学び合いの場となっています。

2日目は、朝から、年齢、校種を超えたグループで実践報告をもとにしたクロスセッションでの語り合い、聴き合いを行います。実践記録の歩みの中にある場面、言葉、表情、行為などを振り返り、参加者同士で実践を共有することで、実践の跡づけをし、実践への問いを深めていきます。

院生の皆さんも、ポスター発表や実践報告に参加し、他者の実践から多くのことを学んでいきます。

ラウンドテーブルで学びを深める

院生が３期にわたって自分の実践と理論とを突き合わせる

7·8月

夏期集中講座

学校行事等に配慮し、夏期と冬期に集中的な講座によって学びを深めます。様々な実践記録や理論に触れながら、自らのこれまでの実践を長期の視点で捉え直し、さらにそれを他者と共有することを通して、教師としての専門性を高めていきます。

仲間とともに自らの実践を振り返る

文献を読んで理論的に捉え直す

実践と理論の往還で学びを問い直す

先輩や仲間の話を聞きながら和気あいあいと意見を交わす

10・11月

月間合同カンファレンス

離れた会場をテレビ会議システムでつなぎ
小浜や県外の仲間とともに学びを共有

合同カンファレンスで学びを捉え直す

12・1月

冬期集中講座

冬期集中講座は、院生が長い実践の展開を跡付け吟味し価値を探る場として、これまでの実践を表現していく活動が中心になります。中心的な跡付けの単位は 1 時間、1 単元の短いものではなく、年間、もしくは数年間の長きにわたったものであり、その間の自分のアイデンティティの変容、コミュニティの発展をたどっていくのは、たやすいことではありません。書き詰まりながらも、スタッフを交えた語り合いの中で、糸口を見つけては書き進める。その中でまた新たなる実践の価値が見えてくる。こうした冬期集中講座の過程を振り返ってみると、そのプロセスこそが重要な学びであることを実感していくのです。

これまでの学びの価値を探る

2月

長期実践研究報告会

院生が 2 年間の学びをじっくりととらえ直し、長期の実践研究報告として書き上げたことを語り合う場が長期実践研究報告会です。修論発表会のようなイメージを受けがちですが、福井大学連合教職大学院では、小グループでじっくりと語り合い、様々な角度からさらなる練り上げを図っていきます。「授業改革を目指す教師集団の一員として」「学校力を高めるチーム力」といった学校改革に取り組んだ姿、「一人の‘自律’した教師を目指して」「『つながり』の中で育つ子どもたちを支える教師を目指して」といった自分自身の成長をとらえ直したことなど、様々な実践の足跡が報告され、熱い語り合いが繰り広げられます。報告者はここでの話し合いを踏まえてさらなる省察を加え、2 月のラウンドテーブルにて最終報告を行います。

長期実践研究報告書

学びの集大成

2月

ラウンドテーブル

Spring Session

自ら実践を語り、他者の実践から学ぶ

3月

学位記伝達式

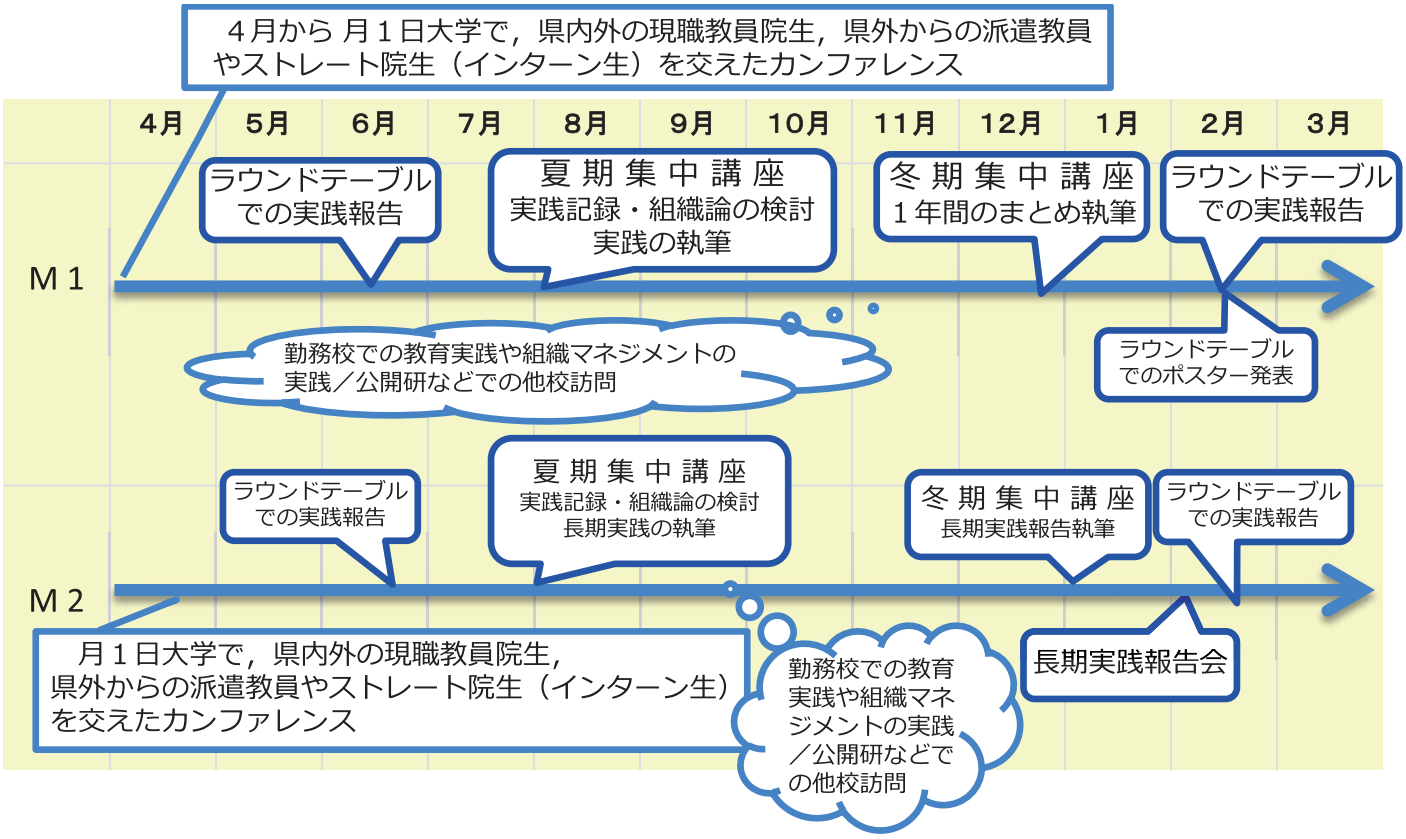
３月末日、福井大学連合教職大学院の学位記伝達式が行われます。再出発のカンファレンスも行われ、これまでの２年間を振り返るとともに今後の展望を語り合います。カンファレンス後は謝恩会を行い、新たな旅立ちを皆で祝います。

学校現場での実践へ

2年間の学びの流れ

＜年間計画＞

実践事例と理論に基づいた省察と再構成を積み重ねながら、学校における組織的・協働的な取り組みにより教育実践力と組織マネジメント力を培う



お問い合わせ
福井大学大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学
連合教職開発研究科（連合教職大学院）
〒910-8507　福井市文京 3-9-1　E-mail　dpdtfukui@yahoo.co.jp